

# 読んでさいたま

2023  
vol.03  
Autumn

さいたま市私立幼稚園協会新聞 第3号 令和5年（2023）秋号

## PTA座談会

今回はさいたま市各区から「名づつ（南区は都合により欠席）なせ幼稚園」のお集まりいただき「なせ幼稚園」も園を選んだのかと「選んでよかったこと」を中心に話していただきました。※誌面の都合上、座談会形式ではなく「1人ずつのお言葉」という形になっていますがご了承下さい。お名前はニックネームとさせていただきます。

**テーマ なせ幼稚園のごも園を選んだのか**  
**西区 ちーちゃん**  
長女は2歳になるまで食の細い子どもで、子育てに悩んでいる中、近隣の幼稚園で母子分離型の「教室がある」園に参加してみたところ、今まで全く食べなかったお弁当を完食して帰って来まして、もう嬉しくて感動しました。先生の言葉を信じて参加したことを本当に良かったと思っています。今はフルタイムで働いていますが、子どもたちも元気に通っています。幼稚園でよかったと思っています。



**緑区 まりちゃん**  
出産前から現在も同じ会社で辞めず

**北区 こっちゃん**  
一番の子は保育園でその時仕事をしていたので、子どもが生まれたら仕事に復帰するものだと勝手に思っていました。二人目ができて産休に入ったので、生れるまでの二ヶ月、上の保育園に通っているうちに子どもも通う保育園にもうちょい長く取りたいなという思いが湧いてきました。向うは仕事で復帰するまで、二人目が保育園に通うことに決めました。おかげさまで娘もすくすく伸びて育っています。私も仕事も戻りましたが、保育園が楽しく思っています。幼稚園に通ってよかったと思っています。

**南区 カイチョー**  
私は子どもと一緒にいた方がいいんだと思いついて、保育園は全く頭になく幼稚園しか考えていなかったです。二人目は理想があっても、結局幼稚園に通うことになりました。幼稚園に通うことで、いろいろな経験ができて、子どもも成長しています。幼稚園に通うことで、いろいろな経験ができて、子どもも成長しています。

**北区 こっちゃん**  
家内も僕も仕事を休む中で、僕自身も休んで保育園に通った方がいいなと思っていました。夫は働いてほしいという思いが強く、保育園に通うことに決めました。おかげさまで娘もすくすく伸びて育っています。私も仕事も戻りましたが、保育園が楽しく思っています。幼稚園に通ってよかったと思っています。

切るのも嫌だし結わくのも嫌だし、女の子のになせがブルーと緑のスボン。個性を受け入れられていません。でも幼稚園に見学に行きました。素敵だねって先生が本当に嬉しそうに褒めてくれたんです。それで「あんなに笑ったことない」とか、お友達に決めたこと、おかげさまで娘もすくすく伸びて育っています。私も仕事も戻りましたが、保育園が楽しく思っています。幼稚園に通ってよかったと思っています。

**南区 カイチョー**  
私は子どもと一緒にいた方がいいんだと思いついて、保育園は全く頭になく幼稚園しか考えていなかったです。二人目は理想があっても、結局幼稚園に通うことになりました。幼稚園に通うことで、いろいろな経験ができて、子どもも成長しています。幼稚園に通うことで、いろいろな経験ができて、子どもも成長しています。

**北区 こっちゃん**  
家内も僕も仕事を休む中で、僕自身も休んで保育園に通った方がいいなと思っていました。夫は働いてほしいという思いが強く、保育園に通うことに決めました。おかげさまで娘もすくすく伸びて育っています。私も仕事も戻りましたが、保育園が楽しく思っています。幼稚園に通ってよかったと思っています。

**南区 カイチョー**  
私は子どもと一緒にいた方がいいんだと思いついて、保育園は全く頭になく幼稚園しか考えていなかったです。二人目は理想があっても、結局幼稚園に通うことになりました。幼稚園に通うことで、いろいろな経験ができて、子どもも成長しています。幼稚園に通うことで、いろいろな経験ができて、子どもも成長しています。

が嬉しい言を耳掛けてくださいます。また、先日保育参観に行きました。長女は漢字を書いてあるお友達の名前カードをめくりながらお名前呼んでいました。日常の中に字を取り入れているところは有難いと思います。

**北区 こっちゃん**  
小規模な幼稚園なので先生方が一人ひとりよく見てくださいます。また、教育機関なので小学校入学に向けて徐々にレベルアップしていくのが安心です。ですが、その点を「二つ」丁寧な面でお話をしていただけます。小学校入学に向けて市の教育機関に相談する上でも幼稚園を選んで良かったと思っています。

**南区 カイチョー**  
私は子どもと一緒にいた方がいいんだと思いついて、保育園は全く頭になく幼稚園しか考えていなかったです。二人目は理想があっても、結局幼稚園に通うことになりました。幼稚園に通うことで、いろいろな経験ができて、子どもも成長しています。幼稚園に通うことで、いろいろな経験ができて、子どもも成長しています。

**南区 カイチョー**  
私は子どもと一緒にいた方がいいんだと思いついて、保育園は全く頭になく幼稚園しか考えていなかったです。二人目は理想があっても、結局幼稚園に通うことになりました。幼稚園に通うことで、いろいろな経験ができて、子どもも成長しています。幼稚園に通うことで、いろいろな経験ができて、子どもも成長しています。

らったり、先生方からお手紙を頻繁にいただいたり、登園した日は大歓迎で迎えてくれたり、そういう絆を親の目にも見せてくれるところは本当に幼稚園でよかったです。長女も今でも園の友達とよく仲がよいし、ママ友はすごくこの病院がいいし、「習い事はどの辺がいいよ」と情報交換が盛んに行われています。気分転換で飲みに行きたいという、私も幼稚園のママ友が集まって「公私にわたって生活と気づきの部分も幼稚園のコミュニティに助けてもらっていますので本当に幼稚園で良かったと思っています。さいたま市で良かったと思います。

**北区 こっちゃん**  
以前は、子どもがうまくできないことは親のせい、自分の教育の仕方が悪いというふうな考えがありました。今の幼稚園で親にも色々な価値観があることや、子どもが好きな遊びをさせてあげて、一人でも遊ぶのもみんな遊ぶのもいいという遊びもいろいろあるという考えを知り、子育ては「楽しむ」という思考から「解き放たれる感じ」が大事だと「正解が一つじゃない」という考え方が、親がどう捉えているかが重要だと思えます。親に余裕やゆとりが生まれ、硬さがとれたときに、幸せを感じながら子育てできる瞬間。ほんとうに時間が心身の健康にもなるし、リラックスして親子の関係を築く持てるんじゃないかな。正解は一つじゃないというところは、親子にとって大切なんじゃないかと、幼稚園で楽しく教えていただいたこと、ありがとうございます。

**南区 カイチョー**  
私は子どもと一緒にいた方がいいんだと思いついて、保育園は全く頭になく幼稚園しか考えていなかったです。二人目は理想があっても、結局幼稚園に通うことになりました。幼稚園に通うことで、いろいろな経験ができて、子どもも成長しています。幼稚園に通うことで、いろいろな経験ができて、子どもも成長しています。

**南区 カイチョー**  
私は子どもと一緒にいた方がいいんだと思いついて、保育園は全く頭になく幼稚園しか考えていなかったです。二人目は理想があっても、結局幼稚園に通うことになりました。幼稚園に通うことで、いろいろな経験ができて、子どもも成長しています。幼稚園に通うことで、いろいろな経験ができて、子どもも成長しています。

**北区 こっちゃん**  
一番の子は保育園でその時仕事をしていたので、子どもが生まれたら仕事に復帰するものだと勝手に思っていました。二人目ができて産休に入ったので、生れるまでの二ヶ月、上の保育園に通っているうちに子どもも通う保育園にもうちょい長く取りたいなという思いが湧いてきました。向うは仕事で復帰するまで、二人目が保育園に通うことに決めました。おかげさまで娘もすくすく伸びて育っています。私も仕事も戻りましたが、保育園が楽しく思っています。幼稚園に通ってよかったと思っています。

**南区 カイチョー**  
私は子どもと一緒にいた方がいいんだと思いついて、保育園は全く頭になく幼稚園しか考えていなかったです。二人目は理想があっても、結局幼稚園に通うことになりました。幼稚園に通うことで、いろいろな経験ができて、子どもも成長しています。幼稚園に通うことで、いろいろな経験ができて、子どもも成長しています。

**北区 こっちゃん**  
家内も僕も仕事を休む中で、僕自身も休んで保育園に通った方がいいなと思っていました。夫は働いてほしいという思いが強く、保育園に通うことに決めました。おかげさまで娘もすくすく伸びて育っています。私も仕事も戻りましたが、保育園が楽しく思っています。幼稚園に通ってよかったと思っています。

**南区 カイチョー**  
私は子どもと一緒にいた方がいいんだと思いついて、保育園は全く頭になく幼稚園しか考えていなかったです。二人目は理想があっても、結局幼稚園に通うことになりました。幼稚園に通うことで、いろいろな経験ができて、子どもも成長しています。幼稚園に通うことで、いろいろな経験ができて、子どもも成長しています。



**北区 こっちゃん**  
家内も僕も仕事を休む中で、僕自身も休んで保育園に通った方がいいなと思っていました。夫は働いてほしいという思いが強く、保育園に通うことに決めました。おかげさまで娘もすくすく伸びて育っています。私も仕事も戻りましたが、保育園が楽しく思っています。幼稚園に通ってよかったと思っています。

**南区 カイチョー**  
私は子どもと一緒にいた方がいいんだと思いついて、保育園は全く頭になく幼稚園しか考えていなかったです。二人目は理想があっても、結局幼稚園に通うことになりました。幼稚園に通うことで、いろいろな経験ができて、子どもも成長しています。幼稚園に通うことで、いろいろな経験ができて、子どもも成長しています。

**北区 こっちゃん**  
家内も僕も仕事を休む中で、僕自身も休んで保育園に通った方がいいなと思っていました。夫は働いてほしいという思いが強く、保育園に通うことに決めました。おかげさまで娘もすくすく伸びて育っています。私も仕事も戻りましたが、保育園が楽しく思っています。幼稚園に通ってよかったと思っています。

**一生続く親子の絆をこいで育ててほしい。この時間を大切に、園を人生の故郷にしてほしい。**  
今回は舌鋒鋭い切り口で、子育て・幼児教育・保育に関する厳しくも愛のある講演を各地で行い、数多くの賛同者を得ている音楽家・作家・元埼玉県教育委員長の「松居和」先生をお迎えして、さいたま市私立幼稚園協会の松尾創会長との対談を行いました。

**松居先生**：10年ぐらい前から全国的に保育士が足りなくなっている。政府は規制緩和で切り抜けるようしていますが、たくさんの子どもの相手を、嬉しそうにできる人には、生まれつきのも

**松尾会長**：国会の委員会で先生がお話になったのはその頃ですか？

**松居先生**：日本はまだ1〜2%です。未婚の母から生まれる確率が子ども

**松居先生**：いやいや担ってほしいです。親たちに子育ての幸福感を体験させることが学校を守ることに必要な

**松居先生**：一番最初に話したのが「社会保障と税の一体改革に関する特別委員会」で、保育をサービス産業にしていけない、親が育たなくなる、と言いました。映像が衆議院のホームページに載っています。その時は無償化の時、私が幼稚園という形が好きなのは、親が2時に迎えに来ること、保育者にゆとりができる。5歳までの子どもも要求は、やっぱり親にかわいがかつてもらうことなんです。安心したい。

**松尾会長**：国は欧米を参考にしがちですが、実際の海外の保育事情を教えてください。

**松居先生**：欧米では半数が未婚の母から生まれる。離婚も加えたら、実の両親に育てられる子どもの方が少ない。働いていようがないが、誰でも保育園に預けることができるのが常識だ。日本は遅れているなんて、馬鹿なこと言っている人がいます。政府やマスコミが吹聴する「子育て」に対する負のイメージを払拭してほしい。その時の思い出が、心の故郷へ帰る感覚になる。親たちの子育てを誰かに任せようとする意識が、学校教育を追い詰めています。

**松居先生**：保育園でした。「ママがいなくていいよ」本は、0、1歳はなるべく自分で、それが子どもたちの願いです。という本です。それは、現場からの願いでもあった。私はそれを30年言い続けてきました。母子分離から起る

編集後記	さいたま市私立幼稚園協会が発行する「読んでさいたま」も3号目を迎えました。今号は、より保護者のみなさまが知りたい、聞きたいであろう点にスポットを当ててみました。この時期、お子さまの育ちに関して悩みを抱える方もいらっしゃると思います。少しでもこの紙面がお役に立てれば幸いです。また、誌面の都合上すべてを伝えることが難しくなりました。今後、市幼稚園協会のホームページ上でより多くの情報を発信していく予定です。ご期待ください。
	出版委員長 柏 宏之



様々な問題では、保育園が最前線なんです。

5日間せっかくいい保育しても月曜日また嘔み付くようになって戻ってくる。せっかくお尻が綺麗になったのに、また真赤になっちゃってくる。48時間オムツを一度も替えないような親を作り出しているのは自分たちじゃないか、というシレソマの中で保育士たちは30年やってきたんです。親たちに直接話す時は、喋れない未満児たちの代弁者ですから気合が入りますよ。ママが「いいー」これは勲章なんです。そう言われて過ごす一生は一番確実で誠実で幸せなんです。

幼稚園の保護者に話すのは楽しいです。0、1、2歳の子育てを体験している人だから通じる。その体験が、人生で二度とは起こらない何物にも代えがたい体験だと知っている。私の講演を聞くと、3日間ぐらいい子でもが神様に見えるのと言っています。3日間でもいい。子どもは神様扱いすべきものという記憶がどこかに残れば、その感覚は帰ってきます。これも未来戦略もそうですが、政府の雇用労働施策という「麗」によってその貴重な体験をイライラの原因のように思ってしまった人が増えている。働いてない時間も預かっています。保育園は、

松尾会長：それは親が、

保育士がやる気無くした、義務教育は簡単に崩壊する。その瀬戸際に来ています。

松尾会長：確かに。

司会：幼稚園・こども園は割と親育てというところを頑張らなきゃって意識はあるんですけども、先生のお話を聞いているとちょっと保育園はその辺がもう、なくなっちゃったのかなって。

松居先生：いやいや、気合の入っているところはすごいです。親を育てようと頑張っている。ただ、やっぱり0、1、2歳を預かると言動不一致になってしまったり。

最悪なのは、0歳に話しかけるな、抱っこするな、子どもが生き生きすると事故が起きる確率が高くなるって平気で言う園長がいること。そこで園長を追い込んだのは国です。この時期一週間話しかけられなかったら脳障害になる可能性がある。脳は2歳半までに成長する。一週間抱っこされない体験がPTSDとして残れば、学級崩壊につながるかもしれない。脳の発達が決まるまでは、特定の人と一对一の関係でもないし、二対二でもない、双方方向に愛着関係を育てる。子育ては親たちが子どもを可愛がりながら、まあ、自分はいい人間だと感



松居先生：そつ、働いてない日でも預ける。厚労省が保育のニーズ調査をやった時、要求の多くがフルタイムでは働きたくない。でもフルタイムで子育てもしたくないでした。それなら幼稚園でやればいい。

松尾会長：先生が終始一貫おっしゃっている、いき過ぎた福祉は、教育を駄目にする」といってお言葉。

松居先生：学校教育は親が親らしいという前提のもとに作られているんです。親が育つていないと学校も学童も無法地帯のようになってくる。親による児童虐待過去最多でしょう。不登校、いじめも過去最多です。

松尾会長：まさにその通りですね。

松居先生：0歳児を育てることによって人間は優しくなる、1歳児を育てて忍耐力を身に付ける。子育てに時間を使っている女性を生産的でないし決めつけ見下すような欧米の「国際調査」なんか無視すればいい。日本は独自の道を行くべきだし、日本の文化、伝統を愛した気だ、日本の文化、伝統を愛したテイプ・ジョブスが天国で言っている気がします。今の日本は、北欧の60年ぐらい前の状況です。だから欧米の金持ちや若者がこの国に惹きつけられる。人間として懐かしいんですよ。

松尾会長：30年ぐらい前かなと感じます。

松居先生：数字から言えば60年前もつ前かもしれない。40年前スウェーデンで未婚の母から生まれる子がすでに50%でした。それを日本の学者は福祉が進んでいるから、いいことみたいに言っていた。最初から欧米がいていって決めてくれている。情けない。

この国は先進国の中で奇跡的にまだ家庭という形にしがみついている。この国が幼稚園と保育園は別

物だと言って40年50年やってきたのなら、その方が人類にとって良いと考えるべきでしょう。

松尾会長：パリのO.E.C.D.が「日本の子どもは不幸だ」と言っている。

松居先生：「ママがいい」を読んでみてください。その辺りの「麗」について書きました。日本の子どもが不幸だったら、なんでこんなに世界中の若者が日本のアニメに夢中になるのかって思っています。ドラゴンボールなんて心が清くなきま雲に乘れない。宮崎アニメもそうです。静かに「欲に背を向ける」。大きな役割を果たしていると思います。

司会：今、松尾会長を中心にしている。いま市にある幼稚園・こども園というのは、保育の崩壊を元の姿に戻そうじゃないかと頑張っている協会だと思っんです。

松居先生：少子化は止められない。私は、幼稚園が故郷になるような動きをすることを願っています。卒園児とその親にアプローチして交流を続ける。幼稚園は、卒園児とその親たちの思い出の中に存在していると感じてほしい。そういう園は少子化や競争に強い。

松尾会長：同感です。

松居先生：あそここの園に行つてよかったです。と口コミで拡散していきい。国や口コミは母子分離にこだわりすぎています。女性の社会進出みたいな言葉を使い、子育ては損な役割で、いまの時代は女性も自立して、みたいなことを言うんだ。けどこの世の中に自立している人間なんて一人もいない。頼りあって、信じあうのがいいんです。私の本なんか「ママがいて」というタイトルですから「ママ」社も扱ってくれなかった。それがここまで売れるのは、読んだ人たちの直感と口コミ、SNSなんです。図書館でも順

思う親はずべて「いい親」なんです。

司会：さいたま市の幼稚園・こども園に松居先生が今後も期待していくことについては何かありますでしょうか？

松居先生：就学前に親子関係がどう育つているかですね。それを市が理解して、幼稚園・保育園が親心のピオトープになるよう援助する。マスコミも園はそういう役割を果たしているんだ、と繰り返し報道すれば親の意識も変わってくるでしょう。

政治家も、たくさん母子分離をする街が子育てしやすいや、と思うことがいかに子どもたちの将来を危うくしているか、そろそろ理解しない。

母親たちはわかり始めてますね。「ママがいい」がもう5刷まで出てるんです。

松尾会長：我々も一貫して訴えています。今が大切であることを。

司会：最後に子育て中の保護者に伝えたいこと。

松居先生：赤ん坊を抱いて、その無言の信頼を感じて人の心は満たされます。これほど主体的な幸せのつかみ方はない。この人たちの体験が、人間の核を作ってきた。あとは、3歳、4歳、5歳の間に幼稚園で、父親を真っ当にしてほしいですね。彼らの幸せを願って。

松尾会長：松居先生のご講演で、会場の書籍売り場に多くの人が並びます。親御さんの心に響くのです。

松居先生：いつでも呼んでください。いつでもお話しします。

司会：本日は長時間に渡つてありがとうございました。

## 「子育ては、人生で一番輝く二度と帰ってこない感動的な時間」

番待ちになっているそうです。ある園長先生からは、タイトルを見て涙が出てきました、と言われました。みんな言いたかった。子どもたちだけが正直だった。

「ママがいい」という言葉に今必要な真実がある。駆け引きのない叫び。その願いに寄り添って行けば社会は自然に鎮まり整ってくるんです。

幼稚園こども園としてはどのようにつけていけばよいですか。

松居先生：一生続く親子の絆をここで育ててほしい。この時間を大切に、園を人生の故郷にしてほしいと薦めてください。親子で参加する行事が多いことでお父さんたちお母さんたちが友達になれる。卒園した後も親同士が交流を続ける。小学校、中学校でいじめが減る。その役割をさいたま市という単位の幼稚園が先頭に立ち進めてほしいんです。そうすれば、数年後に学校の先生たちがさいたま市に異動したいと言いだします。

松尾会長：その通りです。

松居先生：幼稚園・保育園が一日保育士体験を親にやらせている地域は、先生たちがそこへ異動したがるんです。親心のピオトープに育つて、心が回りだすと親たちの笑顔が回し続ける。まずは「日保育者体験から効き目ありますよ」。

松尾会長：パパだけ？それともママも？

松居先生：ママもパパも別々の日に全員を目指す。そう言い切った方がいい。覚悟を伝えたほうがいい。絶対行かないぞっていうような親

がやると、すぐ変わる。父親が変わると母親に感謝される。起爆剤に私が講演をするの簡単なんですけど、母親たちに、この幼稚園で父親をちゃんと育ててもらってくださいと言いつつ、お父さんに行きなさい行きなさいって母親が言う。父親の中には病みつきになる人が出ますよ。

松尾会長：なるほど。

松居先生：父親は子どもと波長が合う。男はいつまでたつても子どもなんです。

司会：そういうところを幼稚園でもっと増やして、これから幼稚園に行くよっていう保護者の方たちにもその辺を理解していただいて、どんな幼稚園に来てほしいですか。

松居先生：0、1歳をこれ以上預かるのは無理。保育士がいらない、0、1歳を親たちに返していくしかない。どうしても働きたいって言われたら、それはそれでいい。でも直接給付で5万円出せば、7割は自分で育てますよ。孤立しないように子育て支援センターを園に併設して。

松尾会長：私も市長や教育長と表や裏で話しますが、もう先生の

おしゃる通りで、教育委員会もいるんなんに困っています。保護者のことか、職員のことか。でも小学校の就学前にきちんとやっておけば解決する問題は多いです。

松居先生：親の意識を子育てに惹きつけておくのは難しいことではない。遺伝子の中に組み込まれているんです。子育ては感謝することです。一人で育てているのではないから周りに感謝するようになる。その感謝の姿勢が保育者を育ててきた。学校を支えたいんです。

松尾会長：まだ初心者マークをつけた若い親御さんが、0歳の時に預けたくないけども、ここで預けないと我が子は保育園に入らなくなってしまうとか、会社に戻れなくなってしまうとか、悩んでおられます。

松居先生：もうその段階は過ぎてます。このままでは、保育士が足りないところか、学校教育が破綻する。先日にも、「新任教師の退職、公立校で相次ぐ。精神的な不調、東京では理由の4割」という記事がありました。土曜日、車にスキーを積んで子どもを保育園に預けて遊びに行っちゃった。そういうのを見ていると保育士たちがやる気なくなっちゃうんです。親が遊びに行つて

**音楽家・作家・元埼玉県教育委員長**  
**松居 和**

慶應義塾大学哲学科からカリフォルニア大学(UCLA)民族芸術科に編入、卒業。尺八奏者としてジョージ・ルーカス制作の作品やスピルバーグ監督の作品など50本以上のアメリカ映画に参加。アメリカにおける学校教育の危機、家庭崩壊の現状を報告したビデオ「今、アメリカで」を制作。帰国後は短期大学保育科講師、埼玉県教育委員委員長をつとめる。「先進国社会における家庭崩壊」「保育者の役割」に関する講演を保育・教育関係者、父母対象に行い、欧米の後を追う日本の状況に警鐘を鳴らしている。



松居 和 著  
『ママがいい! 母子分離に拍車を掛ける保育政策のゆくえ』  
定価 1,650円(本体1,500円+税)  
書店、ネット書店、オンラインショップで販売中。

### 寄稿文

## あそびで育つ、輝くさいたまの子



さいたま市私立幼稚園協会の皆様及び各幼稚園・認定こども園の保護者の皆様

さいたま市長 **清水 勇人**

「親子の絆を深める」子育て支援を進めてまいります。

さて、幼児期の教育は、「あそび」が中心です。子供の主体的で自発的な「あそび」によって、心の育ちや関係性の発達などの「非認知能力」が育まれます。

早期の英語指導、体育指導などは、目に見える力として捉えやすく、一見して教育の効果を感じやすいかもしれませんが、こと、幼児期においては、こうした「認知能力」に偏った保育や、保育者主導の指導的な保育は、長い目で見て、子供が自らの力で目標に向かい、課題を見出し、試行錯誤を繰り返しながら解決の道を探る姿、主体的に未来を切りひらいていく力には、つながりにくいと言われています。

幼稚園に限らず、保育園でもこうした幼児教育の考え方は同様ですが、幼稚園では特に学校教育法に定める教育機関として、子供の育ちを支える環境を整え、専門性に基づく深い子供理解をもつて、子供の育ちを支えてくださっています。

幼児期は、子供が将来をたくましく生きる力の原点となりますが、子供の成長には長い時間がかかります。保護者をはじめ、多くの大人の助けが必要です。

日々、お子さんが成長する姿を前に、みなさんは驚いたり笑ったり、時には泣いたり、くやしがりたり、かけがえのないお子さんとの生活はわくわく、ドキドキの連続でしょう。子供と一緒に親も学んでいき、親として、人間としても育つていく、そうした環境が幼稚園には用意されています。子育て中の保護者の皆様には、今しか得られないお子様と一緒に過ごす時間を何より大切にしていきたいと思えます。

さいたま市では、3歳から5歳の約半数の子供たちが幼稚園に通っていますが、夫婦共働き世帯が増加する中、子供を保育所に通わせる世帯の割合が年々増えています。

中には、幼稚園に子供を通わせたいと思っ

ていても、登園時間、お迎えの時間や長期休業(夏休み、冬休み、春休み)と仕事との折り合いに悩まれる方がおられると思います。

さいたま市では、子育て支援型幼稚園の制度を創設し、教育時間外の預かり保育を充実

させていただくことによって、共働きの世帯であっても幼稚園を選択することができます。選べる子育て環境づくりに努めています。現在、幼稚園・認定こども園48園にご協力をいただ

いており、令和6年4月には54園が子育て支援型幼稚園となります。

これからも私たちがさいたま市は、皆さんと一緒に「子育て楽しいさいたま市」を目指し